

夢を描いて高等部へ ～進路指導の実践～

十日町市立ふれあいの丘支援学校
中澤真紀、渡邊美恵子

現状



川西高等特支に行けばひとり立ちできるようにしてくれるだろう。
手帳って、何に必要なの？

みんなが行くから
自分も川西高等特支へ・・・



研修 テーマ

生徒が自分の将来に夢を描き、保護者と共に生徒の夢実現に向けて支援をする進路指導の実践。



具体的目標

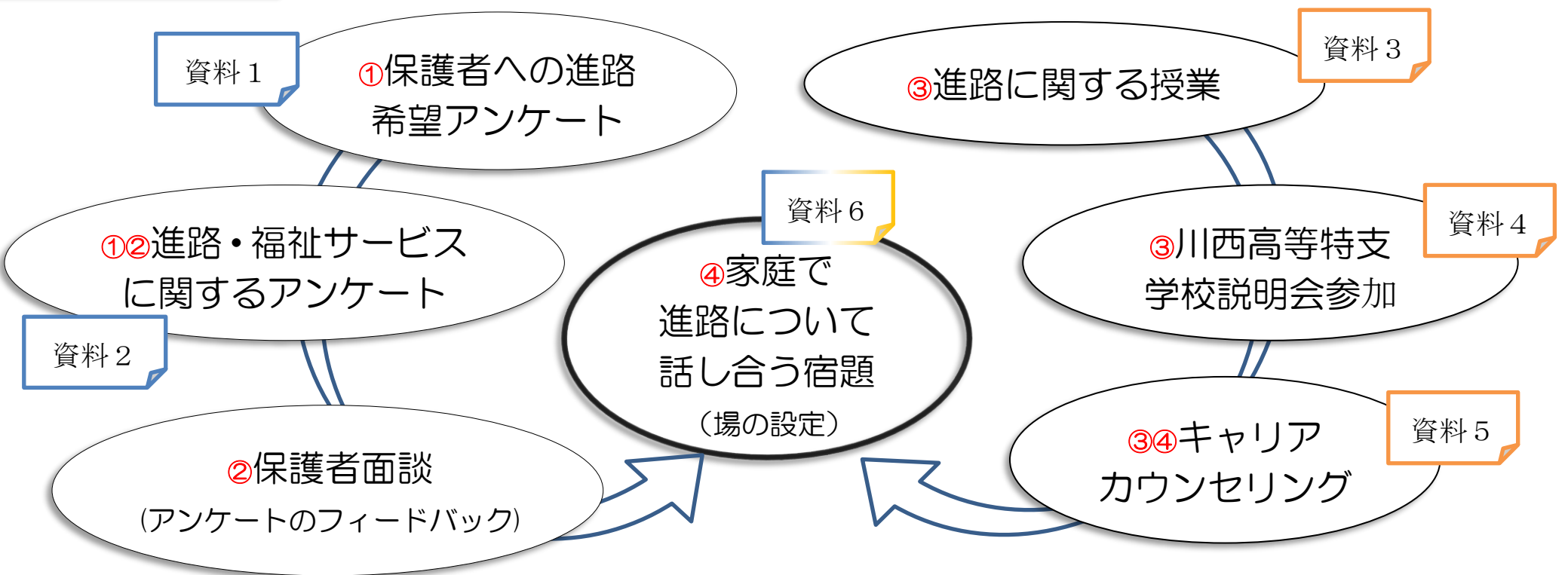
- ①自分の子供の特性とその将来を見通す。
- ②必要な支援や福祉サービスを理解する。



具体的目標

- ③本人の進学目的と取り組むべき課題を明確にする。
- ④それを担任・保護者が共有する。

取り組み



成果と課題

- 子どもの成長や考えが見えた。
- 子どもと真剣に向き合う機会になった。
- 必要な福祉サービスや、可能性のある進路に関心を持ち始めた。
- 福祉手帳未取得の4名とも取得した。
- ▲十日町地域の働く場所に関する知識が不足。(⇒施設見学など、保護者支援)

- 中学部を卒業したら「どこに行くか」だけでなく「何をするか」が見えた。
- 夢実現のために、今何を頑張るべきかが分かった。
- 20歳の自分の将来をイメージできた。
- 保護者と先生が自分の夢を応援してくれることが分かった。
- ▲「グループホーム」や「就労移支援施設」・・・分からない、イメージできない。(⇒分かりやすい学習教材の工夫)

